

2013 年度 入学 試験 問題

日本史 B

(試験時間 13:25~14:25 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。

I 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(30点)

日本への仏教伝来は、6世紀の欽明天皇時代と考えられているが、仏教に関わる海外との人の行き来や海外からの文化、技術の伝搬は、日本の文化に大きな影響を及ぼしている。奈良時代には、国家の保護を受けて仏教が発展し、律宗・俱舎宗・三論宗・成実宗・・の仏教学派からなる南都六宗が形成され、仏教教学が研究された。

平安時代に入ると、大学での学問もさらに重んじられ、『孝経』や『論語』などの儒教の経典を学ぶや『文選』『史記』などを通して漢文学・中国史を学ぶがさかんになった。大学における学問が重視されるにつれて、有力貴族も、優れた官吏を一族から輩出するために、大学の寄宿舍にあたる大学別曹を設けて一族の子弟を寄宿させ、学生として大学での試験や講義を受ける便宜をはかった。和気氏のは、その大学別曹の一つである。有力貴族の子弟を寄宿させる大学別曹とは異なり、庶民の教育を目的として、空海によって綜芸種智院が創設され、庶民に対しても教育の門戸が開かれた。<sup>①</sup>

奈良時代に起こった神仏習合も、平安時代にさらに進み、神は仏がかりに形を変えてこの世に現れたとする思想であるも生まれた。また、怨みを持って死んだ政治的敗者の霊を慰める祭礼が、9世紀半ば頃から催されるようになり、やがて疫病を防ぐ祭礼としてさかんに催されるようになった。<sup>②</sup>

仏の教えが時代を経て次第に通用しなくなるという仏法の衰退を予言する考えが、平安時代に現実味を帯び、浄土教の信仰が広まる大きな要因ともなったが、この頃には、念仏信仰の功德によってめでたく往生を遂げられたと考えられていた人々の伝記を集めた往生伝が多く作られた。<sup>③</sup>

平安時代末期から鎌倉時代中期には、政治的・社会的な不安の中で、新たな仏教諸宗が興り、仏教は、貴族だけではなく、武士や庶民にまで広く信仰されるようになった。<sup>④</sup>このような新仏教に刺激されて、旧仏教も新たな動きをみせ、奈良に病人の救済施設である北山十八間戸を建てて施療や慈善に尽くしたのような人物も現れた。

室町時代には、鎌倉末期から始まった五山・十刹が制度的に完成し、室町幕府は、

五山の上に南禅寺を置き、京都五山、鎌倉五山につぐ官寺として十刹を置いて官寺を管理し、住職などを任命した。また、曹洞宗や臨済宗の大徳寺派や妙心寺派の寺院などは、五山に属さない  といわれる禅寺院で民間布教に努めた。

問(1) 空欄  には、道昭が唐の玄奘に学んで伝来した学派が入る。また、空欄  には、良弁が属した学派が入る。それぞれの学派を、漢字で解答欄に記入しなさい。

問(2) 空欄  ～  に当てはまる語句を、下の(ア)～(ネ)のなかから選んで、解答欄に記号で答えなさい。

- |            |          |           |
|------------|----------|-----------|
| (ア) 末法思想   | (イ) 正法   | (ウ) 像法    |
| (エ) 定朝     | (オ) 円珍   | (カ) 林下    |
| (キ) 神泉苑    | (ク) 弘文院  | (ケ) 勸学院   |
| (コ) 奨学院    | (サ) 忍性   | (シ) 高弁    |
| (ス) 悪人正機説  | (セ) 只管打坐 | (ソ) 本地垂迹説 |
| (タ) 反本地垂迹説 | (チ) 叢林   | (ツ) 垂加神道  |
| (テ) 紀伝道    | (ト) 重源   | (ナ) 修験道   |
| (ニ) 明経道    | (ヌ) 伊勢神道 | (ネ) 学館院   |

問(3) 下線部①の空海が、儒教・道教・仏教の三教のうち、仏教が優れていることを説いた出家宣言書を何というか。漢字で解答欄に記入しなさい。

問(4) 下線部②のような祭礼を何というか。解答欄に漢字3字で記入しなさい。

問(5) 下線部③の往生伝で、『日本往生極楽記』を書いた人物名を、漢字で解答欄に記入しなさい。

問(6) 下線部④の仏教諸宗のなかで、浄土宗と臨済宗に関わる開祖の主要著書、中心寺院を、下の(ア)~(シ)のなかから選んで、解答欄に記号で答えなさい。

- |             |           |            |
|-------------|-----------|------------|
| (ア) 正法眼蔵    | (イ) 教行信証  | (ウ) 興禅護国論  |
| (エ) 選択本願念仏集 | (オ) 立正安国論 | (カ) 一遍上人語録 |
| (キ) 本願寺     | (ク) 建仁寺   | (ケ) 久遠寺    |
| (コ) 清浄光寺    | (サ) 知恩院   | (シ) 永平寺    |

## II 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(20点)

江戸幕府の外交は、鎖国に示されるような封鎖的体制とその維持に示されているが、その端緒は、1604年に特定の商人らに輸入生糸を一括購入させ、ポルトガル商人らの利益独占を排除した  制度の制定に示されている。幕府は、幕藩体制の確立にともなって、貿易を統制下に置くようになり、1616年には中国船を除く外国船の寄港地の制限をし、1624年にはスペイン船の来航を禁じた。また、1633年に最初の鎖国令が出され、朱印状の他に老中から許可証を受けた  という海外渡航船以外の日本船の海外渡航が禁止された。1639年の鎖国令では、ポルトガル船の来航が禁止され、それ以降、鎖国体制の下では、日本と正式な国交があった通信国としての朝鮮と琉球王国、正式な国交はないが貿易は行っていた通商国のオランダと中国だけが日本との関係を結ぶこととなった。

朝鮮とは、すでに徳川家康が1605年に講和を成立させ、1609年には、対馬の宗氏と朝鮮との間で、日本では慶長条約といわれる  約条が結ばれ、釜山に  が設置された。また、琉球王国は、将軍の代替わりごとに、薩摩藩の監督のもとに  という使節を江戸に送った。

幕府は、鎖国状態にありながらも、オランダ船が長崎に入港するたびにオランダ商館長によって提出されたオランダ風説書によって、海外の諸事情を知ることができた。ただし、提出されたオランダ風説書は、オランダ通詞によって翻訳されたが、原則として非公開であった。<sup>①</sup>

幕府の鎖国政策も、世界情勢の変化とともに、それを維持するための諸問題が生ずることとなったが、幕府は、外交政策の変更をせまる動きに対して、1825年に異国船打払令を出して対処しようとした。外国船を打払うという法令に基づいて、貿易開始を求めて来航したアメリカのモリソン号を撃退するという事件が生じたが、この事件にみられる幕府の対外政策を批判したという理由で、渡辺崋山や高野長英などの蘭学者が、<sup>③</sup>厳しく処罰された。

問(1) 空欄  ～  に当てはまる語句を、漢字で解答欄に記入しなさい。

問(2) 下線部①のオランダ通詞で、ドイツ人医師ケンペルの『日本誌』の一部を「鎖国論」という題で訳した蘭学者の名を、下の(ア)~(カ)のなかから選んで、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) 青木昆陽      (イ) 稲村三伯      (ウ) 大槻玄沢      (エ) 志筑忠雄  
(オ) 高橋至時      (カ) 平賀源内

問(3) 下線部②の打払令が出された時の将軍はだれか。将軍の名前を、漢字で解答欄に記入しなさい。

問(4) 下線部③に関して、1838年に著された渡辺崋山の文献名と高野長英の文献名を、解答欄に漢字で記入しなさい。

また、渡辺崋山や高野長英などの知識人が加わっていた勉強会を何というか。漢字で解答欄に記入しなさい。

III 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(20点)

倒幕後、強大な欧米の列強諸国に対抗するために、新生の明治国家は、「富国強兵」、「殖産興業」、「文明開化」のスローガンのもとに、上からの近代化を急いだ。近代化を推進するためには、国民の知識水準を高めることが不可欠であり、明治政府は成立当初から学校制度の確立に取り組んだ。だが、当初は試行錯誤の連続であった。

1871(明治4)年に文部省が新設され、翌1872(明治5)年に  の学校制度になった統一的な学制が公布された。日本では、江戸時代から各地で寺子屋が開設され庶民教育の発展の基盤が存在していたが、学制が公布された結果、全国に多数の小学校が設立され、学校教育が急速に広まった。<sup>①</sup>

だが、全国を  の区域からなる大学区に分け、各大学区に一律の基準で大学校、中学校、小学校を設置しようとする画一的な強制は、地方の実情や国民生活の実態を無視しているものであった。国民の不満が募り政府内部からも批判が出され、1879(明治12)年に学制は廃止され、 が公布された。これにもとづき、全国画一の学区制が廃止され町村が小学校の設置単位となり、その管理も地方に移管され、就学義務は大幅に緩和された。

しかし、強制から放任への急激な転換、国から地方への監督責任の移管は教育行政、教育現場に大きな混乱を招き、 は公布の翌年1880(明治13)年にはやくも改正され、小学校教育に対する政府の監督責任が強調された。

これらの混乱を経て、1886(明治19)年に  文部大臣によりいわゆる  が公布され、小学校・中学校・師範学校・帝国大学などからなる学校体系が整備された。これにより義務教育期間は、尋常小学校の3～4年間とされたが、 年に6年間に延長された。1892(明治25)年当時、男子70%、女子36%であった義務教育就学率は、次第に男女間格差が解消し、1902(明治35)年に全体として90%を超えた。<sup>③</sup>

問(1) 空欄  ～  に当てはまるもっとも適切な国名、数字、語句、人名、年(西暦)を、解答欄に記入しなさい。ただし、同じ番号の空欄には同じ語句が入る。

問(2) 下線部①に関して、設立された小学校の数としてもっとも適切なものを、下記の選択肢のなかから選び、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) 5千校未満                      (イ) 5千校～1万校未満      (ウ) 1万校～2万校未満  
(エ) 2万校～3万校未満      (オ) 3万校以上

問(3) 下線部②に関して、昭和初期に9つの帝国大学がおかれたが、下記の選択肢のなかから帝国大学が設置されていた都市を2つ選び、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) 新京      (イ) 南京      (ウ) 大連      (エ) 台北      (オ) 京城  
(カ) 高雄      (キ) 上海      (ク) 釜山

問(4) 下線部③に関して、義務教育就学率の向上に対して、義務教育期間の授業料の廃止が大きな役割を果たしたが、義務教育期間の授業料が廃止された年を、下記の選択肢のなかから選び、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) 1894年      (イ) 1896年      (ウ) 1898年  
(エ) 1900年      (オ) 1901年



IV 以下の史料を読んで、下記の設問に答えなさい。(30点)

[A]

大韓民国政府は、国際連合総会決議第百九十五号(III)に明らかに示されているとおりの朝鮮にある  な政府であることが確認される。

[B]

両締約国は、そのいずれも、アジア・太平洋地域においても又は他のいずれの地域においても  を求めるべきではなく、また、このような  を確立しようとする他のいかなる国又は国の集団による試みにも反対することを表明する。

[C]

日本国と各連合国との間の戦争状態は、第二十三条の定めるところによりこの条約が日本国と当該連合国との間に効力を生ずる日に終了する。

(中略)

日本国は、 及び澎湖諸島に対するすべての権利、権原及び請求権を放棄する。

[D]

ソヴィエト社会主義共和国連邦は、日本国の要請にこたえ、かつ日本国の利益を考慮して、歯舞群島及び  を日本国に引き渡すことに同意する。

問(1) 史料[A]～[D]を年代の古い順に並び替えなさい。

問(2)  ～  の空欄に入る最も適切な語句を解答欄に記入しなさい。

なお、 は漢字を含む6文字、 ～  は漢字で解答欄に記入しなさい。ただし、同じ番号の空欄には同じ語句が入る。

問(3) 史料〔A〕の条約を締結したときの日本の首相の名前を漢字で解答欄に記入しなさい。また、この条約が締結されたときの韓国の大統領を下記の選択肢から選んで、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) 全斗煥      (イ) 金大中      (ウ) 李承晩  
(エ) 朴正熙      (オ) 盧泰愚

問(4) 史料〔B〕に関して、当初、( a )はこの条項が( b )を刺激することをおそれて反対した。( a )( b )に当てはまる国名を下記の選択肢から選んで、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) アメリカ合衆国      (イ) 中華民国      (ウ) 日本  
(エ) 中華人民共和国      (オ) ソヴィエト社会主義共和国連邦

問(5) 史料〔B〕に関して、この条約名を漢字で答えなさい。また、このときの日本の外相の名前を下記の選択肢から選んで、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) 大平正芳      (イ) 中曾根康弘      (ウ) 鈴木善幸  
(エ) 金丸信      (オ) 園田直

問(6) 史料〔C〕に関して、日本はこの条約を何ヶ国との間で調印したか。数字を解答欄に記入しなさい。また、この条約を締結する際に開かれた講和会議に条約案への不満から出席しなかった国を下記の選択肢から選んで、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) ソヴィエト社会主義共和国連邦      (イ) 中華民国      (ウ) オーストラリア  
(エ) インド      (オ) 大韓民国

問(7) 史料〔C〕に関して、日本国内には全交戦国との全面講和を主張する声もあった。当時、全面講和を主張した東京大学の総長の名前を下記の選択肢から選んで、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) 南原繁      (イ) 大内兵衛      (ウ) 丸山真男  
(エ) 美濃部亮吉      (オ) 大塚久雄

問(8) 史料〔D〕に関して、この宣言を發表したときの与党の名前を下記の選択肢から選んで、解答欄に記号で答えなさい。

- (ア) 改進黨                      (イ) 進歩黨                      (ウ) 自由黨  
(エ) 自由民主黨                      (オ) 日本民主黨